

# 農林水産商工常任委員会資料

(令和8年6月25日)

項 目	ページ
■ ツキノワグマ出沒・事故防止に向けた主な取組について 【鳥獣対策課】……………	2
■ 「食パラダイス鳥取県」の推進に向けた取組について 【食パラダイス推進課】……………	3

農 林 水 産 部

# ツキノワグマ出没・事故防止に向けた主な取組について

令和8年6月25日  
鳥獣対策課

人の日常生活圏へのツキノワグマの出没に備え、出没及び人身事故等の未然防止に向けた取組を実施していますので、報告します。

## ＜令和8年度（4月～8月）の主な取組＞

- ・4月1日(水) クマ対策室の設置(中国地方初)
- ・4月7日(火) ツキノワグマ被害防止連絡会議  
内 容：親子グマが冬眠から覚めて活動し、人身被害の危険性が高まる時期を迎え、県民への注意喚起及び関係者間での情報共有  
参加者：市町村、県警察本部、(一社)鳥取県猟友会、農業協同組合、森林組合など
- ・4月20日(月) ツキノワグマ追い払い研修会  
内 容：集落付近にクマが出没した際、動物駆逐用煙火による追い払いを実施できるよう必要な知識・技術を習得  
参加者：県・市町村職員、捕獲者等 73名  
参加者の声：びっくりするような大きな音で衝撃があった。周囲を警戒して注意して使いたい。
- ・5月2日(土) 県政番組キニナルとっとり+ テーマ「クマとの遭遇に注意！」放映
- ・5月25日(月) 中国地方知事会(開催地：岡山市)  
内 容：中国5県の知事が、出没・被害対策の連携強化について確認
  - ・保護管理ユニット毎の協議会が情報を共有しながら、対策を連携して実施。
  - ・中国5県で市町村別の捕獲・目撃情報及び各県での取組内容の共有(H29～)と、市町村への情報発信を継続。
  - ・緊急銃猟や追い払いなどの被害防止対策に向けた研修会への相互参加
 参加者：中国5県の県知事
- ・6月16日(火)～18日(木) 緊急銃猟実施者育成研修  
(16日：中部、17日：西部、18日：東部)  
内 容：緊急銃猟の安全で的確な実施に向けて、緊急銃猟制度や緊急銃猟の実施に必要な知識の習得及び対応力の向上を図る。  
参加者：県・市町村職員、警察、捕獲者等 ※市町村が地域関係者をとりまとめ参加  
参加者の声：実際に連携することになる関係者で顔合わせができてよかった。自分の考えが概ね他の人と同じであることがわかり、自信がついた。毎年研修を実施してほしい。
- ・6月19日(金) ツキノワグマ被害防止連絡会議  
内 容：鳥根県邑南町での人身被害の発生及び県内でのツキノワグマの目撃情報等の増加を踏まえ、対応方針の確認及び関係者や一般県民への注意喚起  
参加者：市町村、県警察本部、(一社)鳥取県猟友会、森林組合、環境省地方事務所など
- ・8月上旬(予定) ツキノワグマ出没対応実施訓練  
内 容：日常生活圏へのツキノワグマの出没に対応するため、緊急銃猟制度を想定した研修及び実地訓練を実施  
参加者：県・市町村職員、警察、捕獲者等



煙火実習  
(ツキノワグマ追い払い研修会(4/20))



緊急銃猟机上演習  
(緊急銃猟実施者育成研修(6/16))

※その他、新聞、ラジオなどのメディアや県ホームページ、SNSなどを活用し、幅広く県民等への注意喚起を継続的に実施中。

## (参考) 県内の直近10年のツキノワグマ出没状況(6月19日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1-3月	計
R8	5	31	11								47
R7	3	7	8	20	14	6	14	12	7	4	95
R6	7	16	27	27	27	21	76	62	4	5	272
R5	8	9	16	25	8	11	28	37	15	7	164
R4	2	17	21	17	13	9	7	9	8	1	104
R3	7	13	13	22	14	15	34	29	6	3	156
R2	5	16	35	40	47	15	21	34	15	6	234
R1	6	21	36	29	41	16	37	56	13	5	260
H30	4	42	42	46	19	14	15	26	8	1	217
H29	9	24	41	29	29	10	8	2	4	2	158
H28	3	14	31	52	36	27	215	107	10	0	495

※出没情報＝目撃、痕跡、捕獲、その他(事故死等)

※出没情報は、クマと断定できない情報も含む。(目撃者の申し出に基づくものであり、アナグマやイノシシなど他の野生動物との見間違いも含まれる可能性がある。)

※一般的に、クマに係る報道が多くなると、寄せられる目撃情報も多くなる傾向がある。

## 「食パラダイス鳥取県」の推進に向けた取組について

令和8年6月25日  
食パラダイス推進課

令和8年3月から6月にかけて、食パラダイス鳥取県の推進に係るPRイベント等を以下のとおり行いましたので報告します。

### 1 「カレー」&「かawaii」PRイベント『カレイとカレーなる一族大集結』の実施

2月6日に総務省の家計調査報告（家計収支編）2025年平均が公表され、令和7年（単年）の鳥取市の「カレールウ」及び「かawaii」が消費支出額、購入数量ともに全国第1位となった。これを記念し「カレー」と「かawaii」をPRするイベントを県主催で開催した。

- (1) 実施時期及び場所 3月15日（日） 地場産プラザわったいな とりっこ広場（鳥取市）
- (2) 来場者数 約1,200名（地域住民、観光客等）
- (3) 内 容

- ・鳥取市学校給食会によるオリジナルカレーのふるまい
- ・鳥取県産魚PR推進協議会によるかawaii料理のふるまい
- ・ワークショップ（オリジナルカレーピラフキットづくり）
- ・キッチンカーによるカレー及びカレーを利用した料理の提供 等
- ・連動販促企画として、購入者を対象に「かろいち」各店舗で使用できる「10%割引券」を配布し、「かawaii」をはじめとする県産魚の購入促進を図った。



- (4) 来場者の反応

「カレー味のかawaii料理が美味しくて子供がとても喜んでいた。」「家でもカレー味のかawaii料理を作ってみたい。」「鳥取市がカレールウ消費量日本1位になり嬉しい。」

- (5) 併催イベント「とっとり乙（おつ）カレースタンプラリー」

カレーによるまちの賑わい創出を目指す任意団体「とっとりカレー協議会」が、3月16日（月）～29日（日）の間、鳥取市内のカレー味のメニューを提供する飲食店（全12店舗）をめぐるスタンプラリーを企画・実施した。

### 2 大山ブロッコリーPR動画の制作

ブロッコリーが4月1日から国の指定野菜（※1）となったことを受け、日本で唯一G I（地理的表示保護制度）（※2）に登録されている「大山ブロッコリー」の魅力を広く発信するため、ブロッコリーが大好きな俳優・永尾 柚乃（ながお ゆの）さんが出演する動画を制作し、認知度向上に繋げた。

- (1) 動画の内容

【収穫編】（90秒）畑での発見（柚乃EYE）や収穫体験を通して、大山ブロッコリーのおいしさの秘密を探る。

【調理編】（90秒）簡単に楽しめる調理として、「大山ブロッコリーの“ブロッこんぶ”」を美食して紹介。

食パラダイス推進課【公式】YouTubeチャンネル等で公開中

（6/16時点延べ再生回数：約15,700回）



- (2) 視聴者からのコメント

「食べ応えありそうな大山ブロッコリーを食べてみたい。」「柚乃ちゃんの食レポでブロッコリーファンが増えるね。」「ブロッこんぶ作ってみます。」

- (3) メディアでの取扱い 合計39媒体（NHK、読売新聞、朝日新聞、ウェブメディアなど）

※1 指定野菜：特に消費量が多く、国民の食生活に欠かせない重要な野菜として「野菜生産出荷安定法」に基づき国が指定する品目。  
※2 G I（地理的表示保護制度）：その地域ならではの自然的、人文的、社会的な要因の中で育まれてきた品質、社会的評価等の特性を有する産品の名称を、地域の知的財産として保護する制度。

### 3 「とりたべローカルインフルエンサー」の任命

食パラダイス鳥取県魅力発信サイト「とりたべ」で情報発信する令和8年度ローカルインフルエンサー19名（うち新任5名）を任命した。（任命式 5月27日（水））

（活動状況等）

- ・閲覧数は、開設時の2倍に増加（R5）17.6万回→（R7）34.5万回）、一定の固定層の閲覧もあり、認知度は向上している。
- ・外国人観光客のアクセス拡大を図るため、R6から多言語化した。
- ・サイト利用者からの声（観光客、地元消費者）

「旅行で訪れたときに、駅でチラシを見てサイトを利用した。鳥取県産の食材を使用しているお店が検索できて参考になった。」

「地元インフルエンサー紹介のお店なので、安心感がある。」

「フォローしているインフルエンサーのSNSから辿り着いた。記事にインフルエンサーの個性が出ていて面白い。」



4 「2026 とっとり GOOD FOOD MARKET MARUCOLLA」(通称:マルコラ)で「鳥取県の鶏や卵」をPR  
食をテーマにしたイベント「マルコラ」(マルイグループ主催)に出展し、主にファミリー層を対象に「鳥取県の鶏や卵」についてPRを行った。

- (1) 実施時期 5月30日(土)、31日(日)
- (2) 実施場所 アイエム電子 鳥取砂丘こどもの国(鳥取市)
- (3) ブース来場者数 763人(ファミリー層中心)
- (4) 内 容
  - ・鳥取の鶏肉・鶏卵に関するクイズ
  - ・卵つかみゲーム(卵に見立てたピンポン玉をつかんだ数に応じて県産の卵をプレゼント)
  - ・卵のパック積みゲーム(参加者に食パラダイス鳥取県グッズを配布)
- (5) 来場者の反応  
日頃、産地を気にしたことがなかったが、クイズを通じて鳥取県の鶏肉や鶏卵のを知ることができた。



卵のパック積みゲーム

5 とっとり・おかやま新橋館での「鳥取県境港産クロマグロフェア」の実施

日本有数の水揚量を誇る境港産の天然クロマグロの「生の美味しさ」を実感いただくため、旬を迎えた境港産クロマグロ尽くしのフェアを県主催で開催した。

- (1) 実施時期 5月31日(日)～6月14日(日)
- (2) 実施場所 とっとり・おかやま新橋館(東京都港区新橋)
- (3) 内 容
  - ・2階ビストロカフェ「ももてなし家」において、境港産クロマグロを使ったクロマグロ重やお造り、カルパッチョなどを提供。
  - ・オープニングイベントとして、5/31に「マグロ解体ショー」を実施し、来場者100名にマグロの刺身を振る舞った。
- (4) フェア実績 売上食数合計 183食  
(「ももてなし家」の声)
  - ・境港産クロマグロは大変好評で、2品、3品と追加注文したり、リピートするお客様が多かった。
  - ・東京で様々なマグロを食べている人にも境港産クロマグロを喜んでいただけた。(マグロ解体ショー来場者の反応)



初日のマグロ解体ショー

- 「マグロの解体ショーは初めてで興奮した。」「大迫力で子供もびっくりしていた。境港のマグロはすごい。」「境港でマグロが獲れることを初めて知った。」「今までに食べたことのない美味しさで感動した。」
- (5) メディアでの取扱い 70媒体(時事通信、毎日新聞デジタルマガジン、日本海新聞など)
  - (6) 初水揚げに合わせて境港産の天然クロマグロのPR動画を公開した。  
【鳥取の初夏の味覚!魚の王様クロマグロ】境港から天然本マグロをお届け(82秒)  
食パラダイス推進課【公式】YouTubeチャンネル等で公開中(6/16時点延べ再生回数:約9,600回)

6 「食パラダイス鳥取県フェスティバル in なんば広場」の実施

大阪・関西万博を契機とした(一社)大阪外食産業協会(ORA)やヨルダンとの連携により、鳥取のイチオシの味覚を一堂に集めた「食の博覧会」をイメージしたイベントを県主催で開催し、食を切り口とした観光誘客を図った。

- (1) 実施時期及び場所 6月6日(土) 大阪なんば広場(大阪府大阪市)
- (2) 来場者数 約7,000人
- (3) 出展店舗、ブース
  - ・県内企業の販売メニュー(5店舗)  
鳥取牛骨ラーメン(ラーメン悟空)／鳥取和牛カレー(イトイトウ)  
白バラスイーツ・ドリンク(大山乳業)／鳥取県特産品等(山陰三ツ星マーケット)／日本酒(たにもと酒店)
  - ・ORA会員企業の販売メニュー(4店舗)  
大山豚ゴールド・朝どれ平飼い鶏の天美卵×お好み焼き(千房)／大山どり×トルティーヤ(グルメ杵屋)  
こだわりの境港産アジフライ×ハンバーガー(翔家フードサービス)／星空舞を使った鳥取和牛丼(ORA青年部)
  - ・ヨルダン関連の販売メニュー 県産トマト「花咲姫」を使った中東のアイスクリーム／県産米「プリンセスかおり」を使ったヨルダン家庭料理「マクルーバ」など
  - ・鳥取の観光PR(県観光連盟・広報連絡協議会)／鳥取砂丘の砂とヨルダンの砂触り比べ体験等(県関西本部)
- (4) ステージ しゃんしゃん傘踊り、鳥取城北高校書道パフォーマンス、ヨルダンドダンス等
- (5) 来場者の反応  
「鳥取の食材と大阪の企業がコラボした形で味わえるのは面白い。」「鳥取和牛と白バラ牛乳が旨すぎた。」「鳥取県とヨルダンが万博の砂で今でも繋がっていて嬉しい。」「鳥取県はすごいな。」「しゃんしゃん傘踊りを見て感動したので、8月のしゃんしゃん祭りに行くことにした。」



好評だった鳥取和牛丼

7 今後の対応

インバウンドの増加や国際定期便の増便などの機会を捉え、関係団体等と連携を図りながら食パラダイス鳥取県の魅力を発信し、国内外からの誘客につなげる。